

●2017年が開幕しました。国連事務総長がアントニオ・グテーレス氏(元ポルトガル首相)に変わり、1/20には第45代米国大統領ドナルド・トランプの就任式が行われます。また本年2017年は欧州選挙の年、オランダ総選挙、フランス大統領選と国民議会選挙、ドイツ連邦議会選挙が行われます。一方アジアでは、5年ごとの中国共産党全国代表大会が秋に開催され、韓国も大統領選挙です。激しく動く国際状況を的確に見極めながら、我が国は「経済の再生」を最優先課題に、「一億総活躍社会の実現」「地方創生」「復興の加速と防災減災」「確かな社会保障制度と子育て支援」「教育再生」等に取り組まなければなりません。そのためには、「政治の安定」が最重要であり、公明党の役割は大きいと決意を新たにしています。

●自公連立政権の経済政策の是非が最大の争点となった昨年7月の参議院選挙では、与党として目標の改選過半数61を大きく上回る70議席を獲得し、国民の信任を得ることが出来ました。非改選と合わせて与党146議席となり、より安定的な政権運営の基盤ができました。公明党は、候補者を擁立した7選挙区を完勝し、比例区でも7議席を獲得、過去最高となる14議席で勝利することが出来ました。猛暑の中を懸命のご支援をいただいたお一人おひとりに、改めて心より感謝申し上げます。(2面参照)

●参院選勝利を受け9/17第11回公明党全国大会を開催。大会では、山口代表が再任され、私も改めて幹事長に指名されました。政治の安定に果たす公明党の役割・国民の期待を深く自覚し、経済の再生や社会保障の充実、復興の加速、防災減災、子育て・若者世帯支援など参院選重点政策の実現に全力を挙げ、「希望がゆきわたる国」を具体化することを約しました。また公明党の次の50年の更なる基盤を作るため、2017年都議選と次期衆院選に連続勝利

する決意です。(2面参照)

●9/26に召集された第192回臨時国会の主要テーマは、経済対策と災害復興を盛り込んだ「第2次補正予算」の早期成立と通常国会で継続審議となった「TPP承認・関連法案」、無年金者救済と年金制度の長期安定を図る「年金関連法」の成立でした。補正予算は、10/11に成立、TPP承認・関連法案と年金制度改革法案は会期を延長して12/9と12/14に成立しました。臨時国会では24の閣法(内閣提出法律案)のほか、がん対策基本法など17本の議員立法も成立。公明党は、補正予算に子育て支援や防災減災、低所得者対策などの多くの主張を盛り込むとともに、無年金者救済法の成立を主導、がん対策基本法やストーカー規制法などの議員立法の成立に尽力しました。また並行して取り組んだ2017年度税制改正と予算案にも数多くの公明党の主張を盛り込みました。(2面4面参照)

●私は、9/28の衆院本会議で代表質問に立ち、アベノミクスの加速、豪雨被害対応、景気経済対策、働き方改革、復興と防災減災、がん対策等々について、安倍総理に質問。また幹事長として9回の定例記者会見を行い、直面する課題について党の見解を発信しました。党務では、議員の日常活動の強化や党大会の成功、機関誌拡大運動などを推進しました。また夏季議員研修会や党大会を受けた各県本部大会にも出席しました。(3面4面参照)

●いよいよ2017年の通常国会が始まります。まずは2016年度第3次補正予算、2017年度予算を速やかに成立させて、日本経済の再生と国民生活を守る施策を確実に実行したいと考えています。また幹事長として、夏の都議会議員選挙と次期衆院総選挙に万全を期して行きたいと決意しています。 ■